

## 第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

橋本市立橋本小学校 教諭 吉田 稔

### 1. 単元名 「学校の食品ロスを減らそう」

#### 2. 単元の目標

・学校内の食品ロスに着目し、給食センターからの学びや、実際の測定結果を元に、食品ロスを減らす取り組みについて理解できる。 (知識・技能)

・農業者や食に関係する人との関わりを通じて、学んだことをまとめ表現したり実際の行動に移したりすることができる。 (思考・判断・表現)

・食品ロスに対して関心を持ち、食に関わる人の取り組みを知ることで、それらの人の思いや願いに触れ、食を大切にするために自分にできることを考えている。

(主体的に取り組む態度)

#### 3. 単元について

##### (1) 教材観

本単元では、本来まだ食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」を題材として取り上げる。子ども達にとって身近な給食というものから、食について改めて考え、自分達にできること(残飯を減らすこと)を中心に、食品ロスについて考えていく。社会科で学んでいる、「消費者」という自分達の立場や、「生産者」の思い、国語科「私たちにできること」などの教材を複合的に扱いながら、より自分事としてとらえられるようにしていきたい。

##### (2) 児童観

本学級の児童は、1年次より単学級でクラス替えがなかったためか、男女ともに仲良く、積極的に関わっている様子がよく見られる。その反面、人間関係がある程度固定化し、いくつかの小グループが点在した結果、別グループ同士の交流がやや軽薄になっている印象も見られる。1年次よりコロナウイルスの影響をもちに受け、友達との交流を制限された影響か、コミュニケーションが表面上のものに留まり、意見のぶつかり合いや本音の話し合いを避けようとする傾向がある。

小学校入学時より暗いニュースが続いたためか、全体的に自己肯定感はやや低めで、SDGsのことを学ぶにしても「自分(達)が何か行動を起こすことで、地域や社会に貢献できる」といった気持ちは持ちづらい印象で、主体的に何か物事に取り組んでいこうとする意識は乏しいように感じる。

##### (3) 指導観

5月の校外学習で、地域の給食センターに見学に行った。そこで調理師や、栄養士らの話を聞き、給食に対する想いや、実際にどれだけの量の食品ロスが出ているのかを聞いている。その際に、児童からでた「学級の食品ロスを減らそう」という想いを尊重し、今回の取り組みに至った。児童によってどうしても食べられる量や、好き嫌いの問題もあるため、特定の食べない児童が糾弾されてしまうような事態は避けたいと考えている。今回給食センターで学んだことや、後に農業者などの生産者から聞いた話、自分達が野外活動のカレー作りで感じた調理の大変さなどを踏まえ、作る側(生産者)の気持ちを考えられるよ

うにしていきたいと思う。

自分達ができることまで行動を具体化させ、最終的には学級だけでなく、学校内にも呼びかけられるようにしていきたい。

#### (4) ESDとの関連

##### ・ 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…普段食べている給食は、生産者や調理者・栄養士を始め、様々な人たちの協力がもととなってなりたっている。互いの協力なくてはありえない。

責任性…食べれば栄養になる。残せばゴミになる。世界の飢餓問題について学び、自らの暮らしの豊かさに改めて気付くことで、自らの生活を顧みて改善しようとする。

##### ・ 本学習で育てたいESDの資質・能力

多面的・総合的に考える力…食品ロスの背景や現状を単に食料の食べ残しという安易な考えに留めさせることなく、消費者としての態度や生産者側の問題にまで視野を広め、より様々な要因を探ろうとする。

他者と協力する力…問題解決のために、自分にできることはもちろん、学級や学校内の児童ら協力する態度を育てる。

##### ・ 本学習で変容を促すESDの価値観

世代内の公正…一人ひとりが食品ロスについて考える

##### ・ 達成が期待されるSDGs

2 飢餓をゼロに

1 2 つくる責任つかう責任（持続可能な生産と消費）

#### 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
① 食品ロスの実態を知り、その原因や、影響について理解している。 ② 話を聞いたり、調べたりして得た知識を、言葉やイラストなどを用いてまとめている。	① 学級内の残飯や、食品ロス問題などから課題を見出し、解決のために何ができるのか考えている。	① 学習したことから、日本や世界全体のことまで、食糧問題のことについて意欲的に考えようとしている。 ② 以前より残さずに食べるようになったり、余分なものは買わない・作らないなどの行動に反映させたりしている。

5. 単元の指導計画（全11時間）

学習活動	○学習への支援	○評価 ・備考
<p>1 給食センターへ見学に行き、給食に関わる人達の想いや、食糧問題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本市や和歌山県だけでもこれだけの「食品ロスがあるのか・・・」</li> <li>・うちの学級内ではどうだろう</li> </ul> <p>2 学級内の食べ残しを測定し、課題を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌が多いのが原因かな</li> <li>・毎回おかわりする子が決まっているなあ</li> </ul>	<p>○自身の給食での様子をふりかえさせる。</p> <p>【国語科】 「私たちにできること」</p>	
<p>3～5 食品ロスについて調べ、家庭内の食品ロスについても調べる</p> <p>【家庭科】 「生活を支えるお金と物」 賞味期限・消費期限などについて知り、無駄をなくす買い物のコツについて知る。</p> <p>※保護者にも協力してもらう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物をするときの注意と、その理由まで考えさせる。</li> </ul>	<p>ア① (知・技)</p> <p>ウ① (主体的)</p> <p>イ① (思・判・表)</p>
<p>6～9 調べたことをまとめる ポスター・スライド・新聞など</p> <p>10 校内へ啓発活動を行う 掲示物・集会での講演など</p> <p>11 ふりかえりをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで調べ学習を行い、今起こっている現状についても調べさせる。</li> <li>・自分達にできる具体策まで落とし込む</li> </ul>	<p>ア② (知・技)</p> <p>ウ② (主体的)</p>